

# 人生のネクストドア

50歳代からのライフプラン



## 主なキャスト

風見 しんご  
ふせ えり  
田中 健  
斉藤 とも子  
渡辺 裕之

## 企画

一般財団法人 地域社会ライフプラン協会  
(ライフプラン普及・啓発視聴覚教材制作委員会)



## 制作

東映株式会社 教育映像部

上映時間 36分

# 制作意図

昨今「人生100年時代」といわれ、働き方をはじめ社会経済情勢は、急激に変化しています。特に50歳代は、人生の転換期。仕事においては定年までにしておきたい仕事や定年後の生活が視野に入り始め、私生活の面では子どもの独立・親の介護など人生の大きな節目を迎えます。

この作品は、主に50歳代を対象として、現在の仕事への取組み姿勢、家族関係や家庭経済設計の見直し、社会貢献等定年後の生きがいについて、将来を充実して生きるための準備期間として戸惑いながらも、自ら考え、主体的に人生をデザインしていくことの重要性を認識してもらうことを狙いとして制作しました。

この作品が、人事研修やライフプラン研修等での視聴覚教材として活用されれば幸いです。



池田守(55歳)は、定年を数年後に迎える市役所職員。

専業主婦の妻・真知子、フリーターの息子、大学受験を控えた高校生の娘との4人暮らし。

お酒の飲みすぎや家事をやらないことに口うるさく言う真知子とけんかをすることもあるが、それでも仲良く暮らしていた。

職場でのてきぱきした仕事ぶりとは裏腹に、守は自分のライフプランにはまるで無頓着。

定年退職を迎えた元上司の山城から将来のことを尋ねられても、「まあ、なんとかなるでしょ」と意に介す様子もない。

ところがある夜、真知子のリビングルームのサイドボードに「熟年離婚のススメ」という本を見つけてしまう。

「真知子が離婚を考えていたなんて…。」

そんなことを思いめぐねながら家路につく道すがら、居酒屋で一人飲んだくれる山城に遭遇する。

どうしたのかと山城に聞くと、定年後の暮らし方を勝手に決めたことが原因で、

「もうあなたとはやっていけない」と奥さんは愛想をつかし、実家に帰ってしまったらしい。

それが自分事のように思え気が気でない守。

そんなある日、近くの商店街で同級生の吉沢とばったり出会う。

将来のことまでしっかり計画を立てて、自分のやりたいことに全力で取り組んでいる吉沢に

励まされた守は、大切な家族のために、何より自分自身のために、真知子と直接話し合うことを決意する。そして……



一般財団法人 地域社会ライフプラン協会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 11 階

<http://www.lifeplan.or.jp>